

庄内の花育て事情

2004年国際園芸博の時には会員30名、春秋に2万本の花を沿道花壇に植えていました。

現在は庄内協働センターと沿道花壇3カ所へ年間1万本の花を種まきから育てて植え付けています。

上記以外にも館山寺温泉観光協会からの依頼で館山寺温泉周辺の花飾り用に年間1万本の花苗を作って観光協会会員の方が植えています。

花ボランティアが高齢化で減り、1昨年から庄内協働センターで花ボランティア募集を兼ねて花ボランティア園芸講座を開催しています。

最初の年に6名、以降残った人を核にして追加募集をして、毎年少しずつ増え現在10名で、今までの会員と併せて会員数17名になりました。

2004年国際園芸博の時の庄内地区沿道花飾りの会として9グループ140名で庄内半島花の会が立ち上がり、現在6グループ100名の会員で浜松市が建てたボランティアハウスにて沿道花壇用、小学校・幼稚園等に配布する花苗を春秋に7千本ずつ作り各グループで植え付け管理をしています。

フラワーフレンズ庄内代表（浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会）

庄内半島花の会代表（園芸博協会が立ち上げた庄内地区沿道花飾りの会）

庄内北側地区沿道花飾りの会代表（浜松市緑化推進課（現在は緑政課）が立ち上げた園芸博北ルート沿道花飾りの会）

中村明彦